

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

3月市議会定例会報告

平成29年第1回市議会定例会は、2月22日から3月16日までの23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成29年度高崎市一般会計予算、9特別会計、水道・公共下水道事業会計の各予算、包括外部監査契約の締結について、高崎市子育てなんでもセンター設置及び管理に関する条例の制定についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。また、7,400万円を追加して総額1,695億7,800万円とする28年度一般会計補正予算（第8号）のほか、高崎市手話言語条例が議員提案され可決しました。

3月定例会は新年度予算を決定する重要な議会で、市長の施政方針や財務部長から関係議案の提案説明を受けた後、各会派の代表が総括質疑を行い、市長が答弁しました。また、各分野の事業内容については、4つの常任委員会と都市集客施設建設調査特別委員会において詳細に審議が行われました。

《平成29年度予算関係》

一般会計予算は、前年度比3.4%増の1,683億1,000万円で、特別会計、企業会計を合算した総予算額は、2,756億7,309万円で2.5%の増となりました。

28年度の終了事業と併せて130項目の経費削減を行い、「徹底した事業費の削減」、「重点事業の積極的な推進」、「人件費の圧縮」の3つを柱に掲げ、限られた財源をいかに効率よく、効果のある事業に配分するかといった視点で、選択と集中による『新しい高崎』の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を展開するための予算編成に取り組んだといえるでしょう。

主な主要（新規・拡大）事業

- ★ くらぶち英語村（仮称）整備事業（企画調整課） 373,925千円
- ★ 子育てなんでもセンター運営事業（こども家庭課）93,472千円
- ★ 各種がん検診事業（健康課） 413,920千円
- ★ 浜川運動公園拡張整備事業（都市施設課） 1,713,341千円
- ★ 自主防災組織支援の拡充（防災安全課） 10,000千円



3月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十三人の議員が行い、高橋みなおは、三日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

高崎市公共施設等 総合管理計画について

質問 本市が策定した公共施設等総合管理計画については、コンパクトながら要点を捉えたものであるが、公共施設を次世代へ適切に引き継ぎ、維持管理していくための財政的視点からの将来予測も必要と考えている。

平成二十九年予算要求時における施設改修などの要望ほどの程度認められているのか。また、計画に本市の特色はどのように盛り込まれているのか。

答弁 担当部署とのヒアリング等を行い、内容を精査した上で所要の額は確保できていると考えている。市民ニーズの変化に対応したサービスを提供するため改修や更新を進めていく。人口が減らない発展を続ける都市を目指すという考え方を示してある。

質問 扶助費などの義務的経費が増加する中、計画の十年間で公共施設における大規模

改修も含めた年度別更新費用、老朽化対策や建替え、新規整備などの金額の推計は。

答弁 施設の状態と地域の実態や財政状況などを勘案しながら予算を確保していく。

計画期間中に高浜クリーンセンターの建替など大きな事業が予定されており維持補修費と施設建設費を合わせた全事業費は、八百五十億円程度となる見込みである。

質問 地域特性を最大限考慮した状況で、公共施設のより効率的・効果的な再配備や機能集約の取り組みについての考え方は。

答弁 適切な時期に適切な経費で維持・更新することで長寿命化を図りながら必要な住民サービスの提供に努めていきたい。

イノシシの市街地出没について

質問 昨年十二月に貝沢町内にイノシシが出没し、軽傷といえども複数の人的被害が発生した。また、目撃した地域の男性が、登校中の小

学生を守ってくださったという事もある。このような状況から所管部署としての対応は。また、子どもたちの安全においても対策が必要と考えるが見解を伺う。

答弁 今年度は特に出没状況が多く、人的被害が発生したことは重く受け止めている。情報が入ると有害鳥獣実施隊員に昼夜を問わず出動をお願いしている。全学校や園等にイノシシの

特性や遭遇した場合の対応を記載したチラシ配布や広報で、全市的な注意喚起を行っている。
質問 市街地では住民以外にも捕獲に携わる方々の危険性も高い。中山間地と市街地での捕獲方法の違いと、住民への注意喚起はどのように行われているのか。

答弁 住宅地や繁華街などでは、銃器やワナによる捕獲が大幅に制限され、慎重に行動する必要がある。実施隊員の皆さんに状況を判断していただきベストな対策を講じている。警察との連携や役割分担のもと効果的な情報提供と広報活動に努めている。

質問 県でも市街地出没を想定した対応指針を作成し、市町村や警察などの連絡体制整備など予算にも盛り込まれているが、今後の本市との具体的な事業や連携はどのようなものか。

答弁 県も捕獲対策の強化に取り組み、警察署との定期的な会議も行っている。捕獲体制の整備拡充を図り、市民の安心・安全のための対策を強化していきたい。

♪ 後記 ♪

高崎アリーナの4月1日オープンを前に完成式典が行われました。メインアリーナは、国際大会規格に対応し最大6千人の観客を収容できます。チアリーディングのアジア大会、男子バレーボール国際大会などの開催が予定されています。一流選手の迫力や熱戦を目の前で観ることで感動してはいかがでしょうか。